

# 平成30年度データヘルス計画の評価

## 《中長期目標》

項目	指標		目標値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	備考	
医療給付費	1人当たりの医療費の伸び(前年度比)		1.58%	1.58%	0.89%	△2.01%	12.08%	△5.14%		
虚血性心疾患	急性心筋梗塞の標準死亡比(SMR)	30年度の値は、 H25-29	男性	1.00	1.02	1.95	1.95	2.45	2.6	全国平均を1としている。1より大きい場合は全国平均より死亡率が高い。
		女性	1.79	2.12	3.08	1.98	2.72	2.3		
ジェネリック医薬品	ジェネリック医薬品の使用		80.0	62.8	70.9	74.4	78.2	79.7		

## 《短期的目標》

項目	指標	目標値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	備考
メタボリックシンドローム	メタボリックシンドローム該当者及び予備群	31.2%	31.7%	30.9%	33.8%	33.2%	36.0%	
高血圧症	特定健康診査の結果 II度、III度高血圧の割合	3.5%以下	3.9%	4.5%	3.9%	5.7%	3.6%	
糖尿病	特定健康診査の結果 HbA1c6.5%(治療中7.0%)以上の割合	3.9%以下	4.1%	4.7%	4.7%	7.2%	10.2%	
脂質異常症	特定健康診査の結果 中性脂肪 300mg/dl以上の割合	1.3%以下	1.5%	1.9%	1.9%	2.0%	1.8%	
特定健康診査	特定健康診査受診率	60.0%	55.5%	56.4%	57.2%	57.4%	57.5%	目標値は保健事業計画による
特定保健指導	特定保健指導利用率	40.0%	8.3%	5.1%	11.0%	29.9%	44.1%	目標値は保健事業計画による

評価	<p>《中長期目標》 ジェネリック医薬品の使用については、年々上昇傾向にあり同様の取組を継続します。</p> <p>《短期目標》 メタボリックシンドロームは前年比+2.8%で、国・県・同規模と比較してもいずれも大変高い割合です。高血圧症、脂質異常症の数値は若干改善がみられました。一方で糖尿病が大幅に増えています。特定健診受診率は、比較的高い状態を保っており目標値まであと少しです。特定保健指導率は、検診会場で初回面談を実施したり家庭訪問を行ったことで大幅に上昇しました。</p> <p>《総合評価》 特定保健指導は大幅に実施率が伸びているので同様の取組を継続します。 高血圧症、脂質異常症は若干改善傾向がみられた一方で、糖尿病(HbA1C)の有所見者率の上昇が著しく早急な対応が必要と思われます。糖尿病性腎症重症化予防プログラムと連動して取り組む必要があります。</p>
----	--